

平成 26 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	生涯学習課		
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり		重点の方針	1. 二宮の自然、文化、住環境の魅力	
分野別方針	(4) ふるさと教育の推進		実施計画事業	1) ふるさと教育推進事業 (No.37)	
予算等事業名	埋蔵文化財調査事業				
目的	町指定文化財の管理運営を補助するなど、町の文化財保護の推進を図るとともに、歴史や文化財を町民に広く周知し、文化財保護の思想を高め、町を愛する心を養う。				
内容	埋蔵文化財包蔵地内の開発行為等において、必要に応じて試掘調査を行い、埋蔵文化財保護のための行政資料とする。				
根拠法令・条例等	文化財保護法 文化財保護条例				
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他	

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	
<input type="checkbox"/>	③ 未実施				
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由					

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由					

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 計画未実施のため継続の必要性がない(休止・廃止)				
	【説明】				

総合評価

実績	埋蔵文化財調査員の配置、埋蔵文化財の試掘調査				
中間評価との相違点					
事業指標(数値指標)					
前期(27年度)目標値	単位:		【目標値の根拠または数値で表わせない指標】		
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	埋蔵文化財包蔵地についての照会、試掘調査の状況等	

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		1,538	1,360				
財源内訳	一般財源	1,538	1,360				
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 埋蔵文化財の保護について公費を投入することは妥当である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 町が主導となって埋蔵文化財の周知・保護に係わる必要がある。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 埋蔵文化財の専門職員の配置により、専門的な対応が可能となった。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	B
	【説明】 埋蔵文化財の保護には発掘、調査が必要であり、費用がかかる。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 妥当性・有効性はあると言えるが、費用面がかかるため、検討の余地がある。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	埋蔵文化財の町としての在り方を検討する必要がある。	

◎評価者[担当主管課長]

<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	埋蔵文化財の調査は必要なことであるが、該当する埋蔵文化財が多くなりすぎると町の財政を圧迫してしまう。		
今後の方向性	埋蔵文化財の調査をどこまでするか、検討の余地がある。		